

ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会（略称 THInet・養成協）

THInet 公式上級インストラクター認定制度

THInet 企画室(&開発委員会)

【定義】

THInet 公式インストラクターを養成する人材を「THInet 公式上級インストラクター(略称—上級インストラクター)」と呼ぶ。講習や試験等は行わず、書類による自己申請で、下記の条件を満たしているかを「公式上級インストラクター審査委員会」が判断し認定する。

【取得対象者】

THInet 公式インストラクター（すでに開発委員の方も含む）である。

【制度の目的】

- ①本会の THInet 公式インストラクター認定講習会の講師を務めることができる人
- ②教員・医療専門家対象等の 講演会の講師を務めることができる人
- ③養成協への講師派遣依頼際し、講師紹介のプロフィールに、研究書・著書・論文などを記載することができる専門性の高い人

【取得条件】

- ① 得意分野二つ以上（第二分野から第五分野、第八分野）の医療等専門家のレクチャーや、医療等専門家の講演を受講する(概ね申請時点から6年前まで)。
 - (自己申請)
 - *第1分野：講演のスキルと第6分野ネット依存を除く
 - (*レクチャーの形式は様々の形式があるので、必要に応じて提案、相談に応じる。)
- ②第6分野ネット依存は、久里浜医療センターの夏期講習を受講する（諸事情で受講が困難の時は、それに準ずる講習等の受講や実績で対応することもできる＝ネット依存に関する学術論文や著書がある等）。
- ③講演・研究実績
 1. ア、ネット健康問題関係の講師経験、教材開発経験が2年以上あること。イ、ある分野(未知の分野や他の側面)のある章、または節に相当する制作教材の1/2以上を自ら制作した実績があること。
 (求める力⇒教材開発能力)
 2. 講演回数が、延べ30回以上(概ね申請時点から7年前まで)。
 (求める力⇒プレゼン能力と経験)
 3. ①著書・テキスト、②論文(学会・大学・研究会等の紀要)、③啓蒙書(雑誌・「白書」等)、公の研究業績物で、上記3項目に関して、**2ページ以上の掲載原稿が各1編以上、計3編以上**あること
 *THInetWebの「上級インストラクター紹介欄」には、講演・研究業績を記載する
 (求める力⇒講演・授業などの実践や問題対象を研究論文にする能力)

①+②+③は、別紙 様式4 「THInet 公式上級インストラクター申請用紙」に記載し、常時申請できる。大学職(研究職、元も含め)で、**ネット健康被害に関する研究や医療に従事していた方は、条件の一部をそれに代替えすることができる。**

- ① 申請先—上級インストラクター審査委員会

【公式上級インストラクター審査委員会】

委員長－共同代表 田澤雄作 副委員長(委員長代行)－共同代表 大谷良光

委員－伊藤賢一(副代表)、内山陽子(開発委員会副委員長)

事務統括－内山陽子

【証書発行者名】 ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会

共同代表 田澤雄作(国立病院機構仙台医療センター小児科元部長)

【継続と審査費用】 合格者のこの資格は終身制である。審査費用：1万円（会への募金が主目的である）

THInet 公式**准**上級インストラクター認定制度

THInet 企画室(&開発委員会)

【定義】

THInet 公式インストラクターを養成する人材を「THInet 公式**准**上級インストラクター(略称－准上級インストラクター)」と呼ぶ。講習や試験等を行わず、書類による自己申請で、下記の条件を満たしているかを「公式上級インストラクター審査委員会」が判断し認定する。

【取得対象者】

THInet 公式インストラクター（すでに開発委員の方も含む）である。または、同等の条件を要するものである。

【制度の目的】

THInet の会員には、研究方法のレクチャーを受けて来られなかった方も多数いる。しかし、優れた教材をたくさん制作され、①と③の啓蒙論文やテキスト等(上級の研究業績)は書かれているが、②論文(学会・大学・研究会等の紀要)がない方もおられる。これらの方が、インストラクターを育成する機会に立ち会えないことは人材の喪失である。これらの方に、准上級の資格を授与し、開発委員会の質を高めることを目的とした制度である。

【取得条件】

上級インストラクターの取得条件と基本的に同じとし、③の講演・研究業績の一部を下記のように、上級の文言の削除ラインを省いた項目の条件とする。

①著書・テキスト、②論文(学会・大学・研究会等の紀要)、③啓蒙書(雑誌・「白書」等)、公の研究業績物で、上記3項目に関して、2ページ以上の掲載原稿が各1編以上、計3編以上あること

【継続と審査費用】 合格者のこの資格は終身制である。審査費用：1万円（会への募金が主目的である）。

ただし、その後上級インストラクターに申請するときは、審査費用は必要としない。